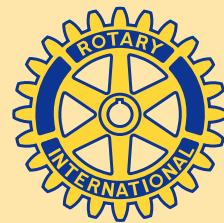


RI第2820地区
土浦ロータリークラブ
創立 1958年2月14日
承認 1958年3月 7日

RI第3520地区
姉妹クラブ
台北陽明扶輪社

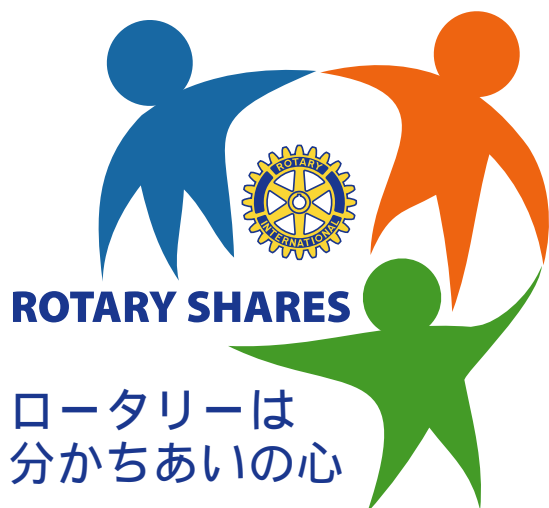


TSUCHIURA WEEKLY REPORT

会長 河合 隆 幹事 竹中 広夫 【URL】<http://www.tuchiura-rc.org> 【E-mail】office@tuchiura-rc.org
事務局：土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F) 【TEL】029-822-1250 【FAX】029-824-8830

RI(国際ロータリー)の創立：1905(明治38) 日本のロータリー創立：1920(大正 9)

2007年～2008年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは
分かちあいの心

RI会長

ウィルフリッド J.ウィルキンソン

2007～2008年度

12月第4例会プログラム

12月27日(第2457回)

点 鐘	会 長
ロータリーソング	四つのテスト
ビジター紹介	親睦活動委員会
幹事報告	
委員会報告	
会 食	
前期事業報告	
にこにこBOX	S.A.A
出席報告	出席委員会
点 鐘	会 長
ロータリーソング	それこそロータリー



井上壽博ガバナー作

格調高く、和やかに S.A.A

12月は家族月間です。

VOL. 24

先週の例会報告

1. 新入会員卓話 『審判とわたし』

山中 輝男 会員

皆さん、こんにちは。早いもので私が土浦ロータリーに入会して約もう2ヶ月が経過しようとしています。この2ヶ月という短い期間ながら新入会の講話というお話しを頂きまして、それではさて何を話そうか考えましたが、永年野球の審判をしてきたこともあり、また周りの方のアドバイスも頂きましたので、野球の審判についてお話しをさせて頂きたいと思っております。

はじめに、日本の国内にはそれぞれいくつかの野球の組織がありますが、国内の野球を統括しているのが、全日本野球会議というものがあります。その下にプロ野球をはじめとする日本野球連盟・全日本大学野球連盟・日本高等学校野球連盟と私達が加盟している全日本軟式野球連盟の5団体があります。私達が加盟する全日本軟式野球連盟には、学童野球から社会人まで全国約57,000チームが登録され、審判員については、定かではありませんが、少年学童部を除いて約37,000名前後が登録されていると推計されます。全日本軟式野球連盟に登録されている審判には、1級から3級まであり、茨城県支部には登録者が約800名います。

この他、プロ野球をはじめとする連盟5団体以外の人や草野球などの審判を加えると日本の国内には相当な数の審判がいると思われまます。

私が、審判を始めるきっかけになったのは、もともと審判に興味を持っていましたが、直接の要因は昭和21年から今でも続いている土浦市民野球大会へ昭和39年頃、会社のチームで参加したのがきっかけだったと思います。当時のチームで投手と内野などをやらされていましたが、その年は肩の調子が良く、この大会のたしか準々決勝だったと思います。先発して投げたのですが、後輩のいるチームに1・2塁の場面でセンター前に打たれ、2対1で負けてしまいました。負けたから特にそう思ったのだと思います。この年は数試合を投げましたが、この試合ばかりでなく審判のストライクゾーンに少し疑問を持っていたことは間違いなくあったと思います。そのときは負けたからよけいそう感じたのかもかもしれません。それから負けた悔しさもあって何日かグラウンドへ試合観戦もさることながら審判も観に行っていると、ある日土浦では名物だった朝日町在住の土浦一高でも監督をされた塚原政親さんという方が私のところへきて、「野球が好きなんだなー、そんなに好きなら審判でもやってみねーか。」と誘われたのが審判をやるはめになってしまったと思っています。

「審判をやると野球の後ろがよく見えるぞ。」などと言われ、その気になってしまったんですね。私が審判を始めた昭和40年頃は、試合といえば今では4人制が主流ですが、当時は毎試合2人か3人でやる2～3人制で特に平日などは1日数試合を2人1組で4～5試合を消化しますが、新人だった私は当然のごとく球審などはやらせてもらえませんが、毎試合決まったように2塁の審判が定位置になっていました。土日など休日の日はベテランがたくさん来ますから、私のような新人はあまり審判ができません。試合を見て、先輩の人たちの技術を勉強します。しかし、たまにゲームに出ると、この人たちが見ていて、細かくうるさくチェックします。

球審をやるようになるとますますチェックの度合いがすごくて、例えば何回裏のあるいは表のあの場面のどの打者への何球目アウトコースのカーブはどうだったこうだったとか言いますので、自然と自分もコースに厳しくなっていくように思います。

また、当時は今のように警察など交通規制のうるさくない時代で酒を飲んでもそんなに厳しくありませんでしたので、ゲームの終わったあと必ず管理人の家がグラウンドにありましたので、そこで湯のみに冷酒で反省会をよくやりましたが、これがなかなか終わりにならないで延々と今日一日のくだりをやらないと帰れません。この酒の当番はもちろん私達若い人の担当で、ゲームが終わるのを見越し酒をやかんで沸かしたりして準備をします。もちろん酒が足らなくなったら、当然買いに走ります。

まあ、こういう時代だったんでしょうね、今では考えられません。でもこういう思いをしながら自分でも呆れるくらいよく続いたと思います。みんなにはよく、野球が好きだからと云われますが、好きぐらいでは永くは続かないと思います。

私の審判をしてきた中にはいろいろな思い出や忘れられないこと、あるいは記憶に残る選手の姿などいくつかあります。はじめて高校野球の審判をしたのは昭和41年ですが、高校野球の審判は自分がやりたくてもやらせてもらえませんが、今でも同じですが、1級審判の中から推薦され高校野球に登録しなければなりません。推薦登録されたからといっても、もちろんすぐに球審などはやれません。

その頃私は東京の会社に勤めていましたが、平日の日も審判が多いので、よく休暇をとりながら審判をしましたが、休暇をとる理由はもちろん叔父や叔母の葬式にしますが、会社の先輩などにはよく嫌味を言われたのを覚えています。その後昭和43年に地元の消防に採用されま



したが、その年の3月お世話になった前にもお話しした塚原さんという方が朝日町にあった居酒屋グランドコンパの2階から後輩の大川さんと階段から転落して頭を強打し命を落としてしまい、皮肉にも告別式は私の消防入署式の3日前だったと思います。

消防に入ってから非番の日があるので、勤務のかたわらシーズンオフを除いては、ほとんどグランドにいるか消防に勤めているかの日々でしたが、そんなある日幼稚園に通っていた娘が、その日は朝早く起きていた私に突然、「お父さん、たまには家に帰ってきてね。」といわれたことがありましたが、これには少しこたえましたね。今でもその言葉は忘れません。30年も前のことでした。

野球の審判をやる範囲は広く、小学生の学童野球から中学野球と高校野球さらには大学野球と社会人野球その他草野球など様々ですが、その種別ごとゲームとゲームの間のギャップがまた調整するのに大変なんです。たとえば、学童野球のあとに高校野球や社会人などの試合の審判をする場合、そのゲームに慣れるまで苦労します。こういうときほど集中してゲームをやらないと必ずトラブルに見舞われます。何をやるにもそうだと思いますが、たとえば朝出がけに女房と喧嘩などして出た場合には必ずといっていいほど何かがあるように、審判の前も同じで特に大事なゲームの時には数日前から飲酒を控え、十分な睡眠をとるなど体調の管理をするよう努力していないと落とし穴がありますので、注意しています。

さて、皆さんもよくご存知のかたも多いと思いますが、取手2高と常総学院高校で夏2度春1度の全国制覇を成し遂げた木内監督ですが、実は木内さんも昔は審判をやっていた時代がありました。これがまたゼスチャーがオーバーでしたが、その反面すごく細かいところがあったのを覚えています。

また、木内さんは、試合の作戦で木内マジックなどと言われいろいろやりますが、実は計画に裏打ちされたものだと思います。例えば常総学院高校が春の甲子園で準優勝したことがありましたが、前年の秋の関東大会で勝ってほぼ甲子園出場が決まっていたときに東京の帝京高校が練習試合に来たときのことですが、このとき私がその試合の審判を担当することになっていて、球場へいくと木内さんが私に、向こうが来て準備ができたらすぐに始めたいのでよろしくお祈りしますと言われました。早めに準備しいつでもゲームに入れるように待っていると、木内さんいわく「どうせ子供らのことだからバスの中で寝てくるから体が起きないうちに準備運動ができたらすぐ始まればゲームになっから」と言い、そのように試合がはじまり案の定ゲームは常総学院の一方的なものとなり、木内さんの狙い通りとなりました。常総の選手は強豪の帝京高校をコテンパンにしたことで自信がつき、一方の帝京は自信を失い翌年春の甲子園選抜大会で明暗が出ました。常総学院は準優勝し、優勝候補の帝京高校は2回戦であえなく敗れてしまったのを覚えています。木内マジックの面目躍如といったところではないかと思えます。

私の審判をしてきたなかでも、印象に残っているひとつに昭和50年夏の高校野球の茨城県大会と記憶していますが、まだこの頃は今の水戸市民球場がありませんので、メイン球場は茨城県営の時代で当時水戸工業に松坂という右の本格派の投手がいて、確か準々決勝だったと思います。私は、この試合の1塁審判を担当したとき、球審は全国でも審判指導をされていた水戸の森一朗さんという方で、この人の弟は土浦三高で教員をされていた森正二郎さんという方です。この試合の相手は忘れませんが、格下のチームでしたが、投手戦で6回まで1対0で水戸工が勝っていて、7回に走者2人を置いてタイムリーヒットを2人目の走者が本塁で本当にきわどい間一髪セーフの判定を森球審がコールすると激怒した水戸工のスタンドから悲鳴にも似たような歓声とどよめきが騒然と起こり、空き缶などがグランドへやんやと投げられ、ゲームが中断してしまいました。私はちょうど水戸工側の1塁審判でしたから危ないのでその場から2塁のほうへ避難して少し間があってから収拾するために4人で協議しましたが、森さんは自信を持って「足が入っている。」というようなことを話したので、私も1塁からですが足が入ったように見えたので、森さんの意見に同調しました。森さんが「それではこれで行くよ。」と言ってマイクで事情を説明しましたが、このときの判定はさすがだと思いました。問題の処理はマイクで放送しても収まらなかったのですが、結局は水戸工の監督と部長さらに校長が応援団を説得して納まったことがありました。これも忘れられない思い出です。このときの森さんの行動や態度はその後の私の審判人生に多大な影響がありました。

もうひとつ、これは恥ずかしい話で昭和55年頃、土浦市営球場で高校野球の夏の県大会で2塁の審判をしていたときにこれも今は学校がなくなりましたが、常北高校というのがありまして、当時この投手も好投手の一人でしたが、走者2塁で牽制球が2塁へ放られたとき、判定に入った私に投手からえげつないシュート回転のボールがきて、私の股間へ見事に命中してその場に悶絶しましたが、判定どころではありませんでした。しばらくその場でじっと我慢して痛さをこらえましたが、少し痛みも和らいだのでなんとかその試合は終えることができました。試合が終わってすぐに病院へ行き診察してもらいましたが、打撲程度で済んだ苦い経験をした覚えがあります。

まだまだエピソードはたくさんありますが、時間もありませんので私が今まで球審をした中で好投手だった人を覚えている範囲で思い出すと、一番は銚田一高の戸田投手、次に龍ヶ崎一高の柳町投手、次は水戸商業2年の時の井川投手でその次は取手2高の松沼弟で次は明野の梅沢が龍ヶ崎一高の関口投手かな。この中に土浦日大高の工藤投手が入りませんでしたが、あまり印象は薄く、目をみはるようなものが感じられなかったように記憶しています。

私が茨城県高校野球大会夏の決勝で審判をしたのは、平成8年でこの試合は2対1で水戸短大付属高校が優勝した第78回大会ですが、この試合も大分緊張した試合でしたが、たった一球の失投で試合が決まってしまうました。水戸短大が1点負けていた7回一死1・2塁の場面ですれまで失投らしい失投もなく投げていた伊奈高校の投手が水戸短大の一番よい打者にアウトコースやや高めのスレートを見事に右中間に長打され2点を失い、そのままゲームセットになりましたが、この場面は今でも鮮明に覚えています。

以上時間でありませぬので、私のとりとめのない話しを終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

2. 土浦RAC道心園クリスマスのつどい報告 土浦ローターアクトクラブ 幹事 幕内 理恵

土浦ローターアクトクラブと交流させて頂いている児童養護施設「道心園」で12月16日、「クリスマスのつどい」が開かれました。今年も土浦ローターアクトクラブから道心園の子どもたちへクリスマスプレゼント（子供向けDVDビデオとお菓子）をお贈りしました。土浦ローターアクトクラブより河合会長や竹中幹事、岩瀬地区委員、小原人間尊重委員長、小倉新世代奉仕委員長にお越しいただき、開会前に道心園の横田園長先生にプレゼントを贈呈しました。その後、午前11時からクリスマスのつどいが始まり、子どもたちの劇やダンスなどを観賞しました。

また大きく元気いっぱい成長した子供たちを見ることができ、嬉しく感じた1日でした。



第2回事前理事会報告

日時：平成19年12月13日（木）18:30

場所：霞月楼

- ・ 副幹事に井坂圭一君を選任
- ・ 副SAA及び各委員長案について会長一任
- ・ CIC0に辻英二君を選任
- ・ 第3回事前理事会

日時：平成20年2月7日（木）13:40

場所：ホテルロイヤルレイク土浦



宮本会員への会員証交付

にこにこBOX

12/20 32,000円 累計1,102,000円

宮本君～よろしくお願ひ致します。

磯君～宮本由一さんを宜しくお願ひ致します。

山中君～卓話をさせて頂きました。

井坂君～いとこの安藤真理子が例会にお邪魔させて頂きました。お見知り置き下さい。

結婚祝～中桐君

高木(彬)君～この度は葬儀に当りご協力を頂き厚くお礼申し上げます。おかげさまで葬儀を終り重ねてお礼申し上げます。有り難う御座いました。

メイクアップ

倉持、中川(12/9 ロ・財団、国際奉仕合同研究会)

河合、岩瀬、竹中、小原、小倉

(12/16道心園クリスマスの集い)

出席報告

会員	欠席	出席	出席免除	出席率
66名	11名	55名	11名	80%

例会予告

1月3日 休会

10日 会長新年挨拶 子年会員の紹介と抱負

「土浦ローターアクトクラブ美術館」

跳

井上 壽博 ガバナー作

インターシティーミーティング(I M)
開催のお知らせ

開催日 平成20年2月2日(土)

場所 ホテルマロウド筑波

テーマ 『環境保全』

第1部 新入会員研修会 10:00～

第2部 本会議 13:00～

第3部 懇親会 17:00～

本日のメニュー

鯨そば

茸の炊き込みご飯

ブロッコリーの
味噌ネーズ添え